

平成23年度日本NGO連携無償資金協力 循環型農業と衛生改善による 包括的な環境保全型村落開発事業（第2フェーズ） 事業紹介イベント 2012年8月2日



上段：NICCO代表者よりチンバル中学校に対する学習机引渡しの様子

下段左：エコサントイレに関する説明を受ける小林駐マラウイ臨時代理大使

下段右：ウォーター・ポイント・ガーデンで生産された野菜を販売する農民

2012年8月2日、マラウイ南部ドーワ県ナンブーマ地区のチンバル中学校にて、公益社団法人国際民間協力会（NICCO）による開発支援プロジェクト、「循環型農業と衛生改善による包括的な環境保全型村落開発事業（第2フェーズ）」を紹介するイベントが開催されました。日本政府は本事業に対し、平成23年度日本NGO連携無償資金協力（N連無償）のスキームにより総額438,961米ドル（39,067,529円）の資金援助を行いました。本式典はNICCOが主催し、在マラウイ日本国大使館より小林駐マラウイ臨時代理大使、及びマラウイ政府代表としてンゴカ・ドーワ県知事も出席しました。

第1フェーズの成功を受けて開始された第2フェーズでは、ナンブーマ地区における井戸及びエコサントイレ（排泄物から肥料を生産する環境に優しいトイレ）の建設、農民への農業技術移転や衛生改善に関する指導といった、草の根レベルでの活動が展開されました。さらに、2012年9月より継続案件として第3フェーズが実施されており、ナンブーマ地区の支援対象地域も拡大され、引き続き精力的な活動が行われています。